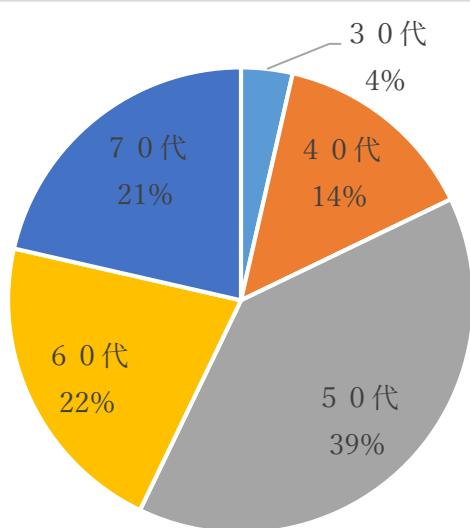


# ひきこもり支援講演会（10月18日）

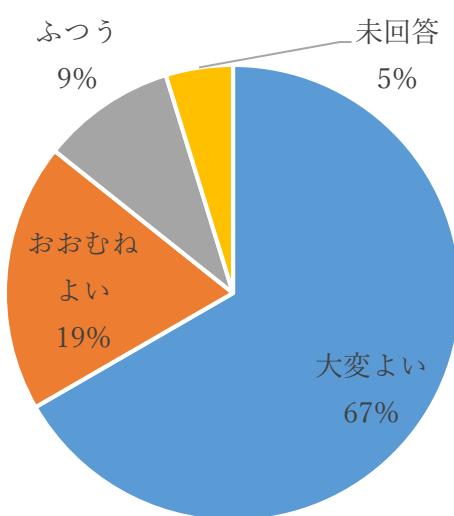
## アンケート結果

### 1 参加者年代



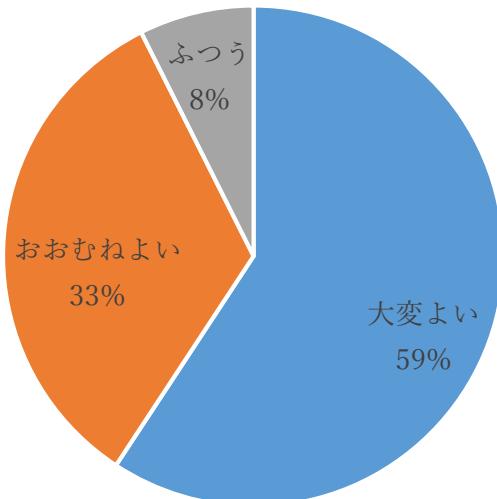
### 2 感想

#### (1) 全体



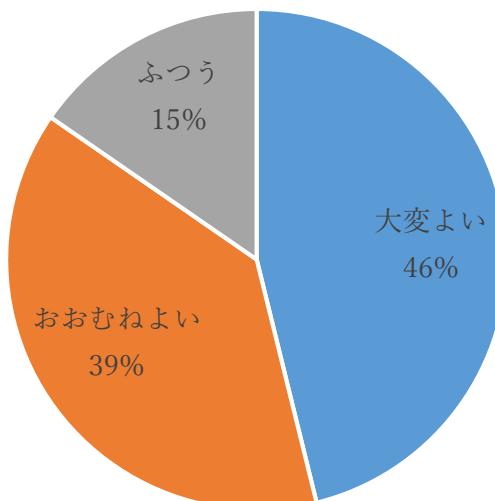
- ・ 積極的な支援の方法をお聞きした気持ちです。
- ・ 久世先生の「押す」と「1人暮らしをさせたら」というのは、びっくりしました。
- ・ 講演もグループワークも、貴重なお話を聞けて、私も話せて良かったです。
- ・ 情報提供として、理解できた。

## (2) 講演



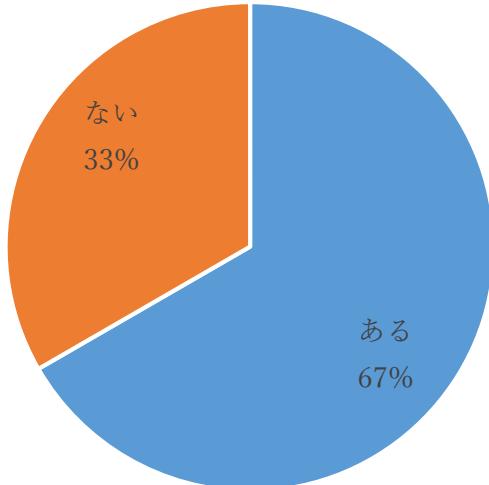
- 本人を信じて待っていても、何も変わらないため、今回の講演は大変参考になりました。当事者の気持ちも複雑なのが分かり、子供の様子もしっかり見ていくべきと思いました。
- ひきこもりの方の変化がよく分かった。対応の違いとの関連等
- 2つのパターンを紹介していただき、本人の動画も見れて、良かったです。
- ニュースタートさんのレンタルお姉さんのマンガを読んだことがあり、関心がありましたので、今日お話を聞いて良かったです。
- 「待つ」か「押す」か、考える機会になった。

## (3) グループワーク



- ・ 1人暮らしをさせてみる等、アドバイスを頂けて有難かったです。
- ・ 同じ境遇(息子がひきこもり)の同じ悩みのお母さん達とお話が出来て、良かったです。
- ・ ひきこもりの実態が、理解できた。

### 3 相談を行った経験(ひきこもり当事者家族のみ回答)



### 4 今後活かしていきたい内容

- ・ ひきこもり支援の活動をされている内容が、大変ためになりました。ありがとうございました。
- ・ ただ待つだけでは、状況が変わらないということは、今後活かしたい。
- ・ 高齢のひきこもりに、特に課題を感じた。考えていきたい。
- ・ 当事者・家族との対応の参考にしたい。
- ・ 貴重な機会を与えて下さり、ありがとうございました。現在、特別支援学校高等部に所属しています。18歳未満の場合は、もっと早く背中を押すことを始めることが大事と伺いました。不登校状態が続いている担当の生徒(現在1年生)が、このまま背中を押されがないまま、卒業を迎ってしまうことのないよう、保護者の背中を押す立場として、行動に移したいと思います。
- ・ 背中を押す。伴奏してくれる人にお願いする。
- ・ 先生が、優しく相談に乗って下さって、とても嬉しかったです。私も「待つ」だけでなく「背中を押す」ことを考えていきたいと思えました。刺激を受けられました！
- ・ 皆さん悩んでいますが、思いつめないようにしたいと思います。
- ・ 市の事業の詳しい内容が知れて、とても良かったです。相談につながることができそうです。

## 5 ひきこもり研修会の内容に関する要望等

- ・ 毎回、講師の方の講演・実体験等、とても参考になります。今後も、続けて頂きたいと思います。
- ・ 情報が得られて、良かったです。ありがとうございました。
- ・ 支援、サポート等のPRを、もっと周知するべき。
- ・ 松本市で「ひきこもり」についての活動なのだから、社会福祉協議会や保健所、福祉政策課等と、もっと連携できませんか？全くつながりがなく、個別に動いているように見えます。
- ・ 支援者さんと経験者さんの両方の立場のお話は、どちらも参考になりそうな気がします。ありがとうございました！

## 6 講師への質問・要望と、それに対する回答

○レンタルお姉さん、お兄さんという存在は、どういう人がふさわしいか。

(講師回答)

- ・ 他者を色眼鏡なく見ることができて、話し好きで、拒否されても厭わないタフな方なら、基本的にできると思う。嫌われ役もできる人は、対応幅が広い。
- ・ レンタル活動は本人担当(レンタルお姉さん・お兄さん)、親担当、親御さんのチーム戦。ご本人との対話だけでなく、親御さんのご協力で環境を変えることも同時にやっていく。なので、「自分がこの人を何とかしよう」と思う方は向かない、というはある。

○7割は自立できたとの事だが、残りの3割の人たちは、その後どうなったのかを知りたい。

(講師回答)

- ・ 半自立(就労したが完全自立までの収入がなく、親からの一定の援助がある)
- ・ 医療や福祉(就労移行などの安定利用、グループホームなど)
- ・ 途中終了(親御さんとの協力体制が取れないなど、ご本人ではなく親御さんとの事由が大半)

○今後、当事者が自立した時に、どんなことを注意していったら良いか、指南していただけますと助かります。

(講師回答)

- ・ 親御さんが、もう手が離れたものとして、いわゆる盆暮れ程度の関わりに留めること。そのために、ご本人が仲間など他者に相談できる、助けを求められるようにしておく必要がある。これはニューススタートで、就労が継続しているかに並ぶ、大事な卒業要件。
- ・ 仲間に相談ができるいて繋がりも続きそなれば良し、難しい場合は無料や安価の相談先になるべく繋いでおく。そして支援終了後は、親御さんだけでなくこちらも、きちんと手を離すようにする。